

地域自主組織「なわのわ」
旧保育所に「ものづくりスペース」をつくる
「学ぶ」「つくる」「共有する」の三つの循環をめざして

活動が2年目に突入した『なわのわ』です。「なわほ（旧名和保育所）」を拠点とし、「集まる」「つながる」「やってみる」の3つがゆるやかに循環する場づくりに取り組んでいます。

「a. つくり方を学べる」「b. つくるための道具とスペースがある」「c. そのノウハウを共有できる」環境づくりに取り組むことにしました（年内にはカフェスペースも併設予定）。

【「つくるくる」はじめました】

今年度は、テーマの一つである「つくる」活動の一環として「つくるくる」事業を始めました。



▶「つくるくる」の概要とイメージ

- ① つくり方がわからない
- ② つくるための道具がない

／作業場がない

これらは、昨年度の活動のなかで見つけた困りごと。その解決法として

【「つくる」ためのツール続々入荷！】

では、実際「なわほ」では「何を つくる」ことができるのか？といたしますと、現状だと次のような道具（ツール）を取り揃えています。

- ① スライドのこ：木材を切ったり「本棚」づくり等の日曜大工で
- ② 蒸留器：ハーブや柑橘類を使って「アロマウオーター」づくりで
- ③ レーザーカッター：木材やアクリルなどの素材をレーザーで切ったり刻印したり
- ④ 3Dプリンター：「人形」やサンプリングなど立体的な造形物のプリントを

各ツールを使って、老若男女がものづくりに挑戦できる講座（ワークショップ）の準備も進めていますので、乞うご期待！
また、「なわほ」を利用する皆さんの声にあわせて、新たなツールの



▲3Dプリンターを使うと、こういった人形（プラスチック）も作れます

導入の可能性もご紹介します。施設見学も大歓迎です（まずは、下記問い合わせ先までご連絡ください）。

【小さな場を、積み重ねて】

コロナ禍ということもあり、年度当初の計画通りには動いていないのが実情ですが、そんな中でも町のガイドラインに沿い、衛生面に細心の注意を払いながら、6～7月の「なわほ」では、小さな場が開かれてきました。

全国各地からでも参加OK、実況配信でその場の様子が観られる「リモートミニ四駆大会」。大人が自由研究を発表しあう「自由研究学会@なわほ」。懐かしの曲に耳を傾ける「蓄音機で聴くSPレコード」。テーマに合わせて本を紹介しあう「ほんのわ」。これらは、個人や団体が「なわほ」



▲「蓄音機で聴くSPレコードの様子。蓄音機については講師の解説付き

のスペースを活用して企画されたもの。長い目でみると、こういった小さな場の積み重ねが、地域の活力になるのではないかと感じます。

秋からは、『なわのわ』主催企画も増えていきます。回覧板やFacebook等でのお知らせをお見逃しなく！2020年下半年も、健やかに楽しくいきましょう！

【問い合わせ先】

なわのわ事務局
☎070・8507・2997
(大見謝)

✉nawanowa.info@gmail.com
※facebookページ『なわのわ』で随時更新していきますので、最新のイベント情報などはこちらからご覧いただけます。